

2019年11月28日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則
(JASDAQ・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
土木学会 インフラメンテナンス委員会シンポジウム
「インフラメンテナンスが拓く我が国の未来」に参加しました

2019年11月26日(火)に、土木学会インフラメンテナンス委員会(委員長:東北大学 久田真 教授)の主催、特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム、特定非営利活動法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会の後援によるシンポジウム「インフラメンテナンスが拓く我が国の未来」が開催され、約120名の聴講者を前に、当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:野崎秀則)野崎秀則代表取締役社長が話題提供およびパネリストとして登壇しました。

当シンポジウムの話題提供では、南紀白浜空港コンセッション事業を運営する株式会社南紀白浜エアポートの代表取締役社長 岡田信一郎氏より、「空港型地方創生:南紀白浜エアポートの取り組み ~和歌山県白浜で何が起きているのか?~」の話題提供も行われ、同社が運営支援する取り組みの一部も紹介されました。

同社野崎代表取締役社長からは、「エリアマネジメントに向けて」と題し、「I. 南紀白浜空港での取り組み」として、空港土木施設アセットマネジメントと地域の渋滞対策の取り組みについて、「II. 奈良県田原本町での取り組み」として、ECI方式を用いた官民連携による設計・工事の一体化に関する取り組み事例を話題提供し、後半のパネルディスカッションでもパネリストとして参加者との意見交換を行いました。

同社は今後も、インフラ施設に対する施設管理者に向けた支援や施設の事業運営に取り組み、エリアマネジメントを展開してまいります。

以 上

【シンポジウムのプログラム】

開会挨拶 久田 真 氏(東北大学、インフラメンテナンス委員会委員長)

話題提供

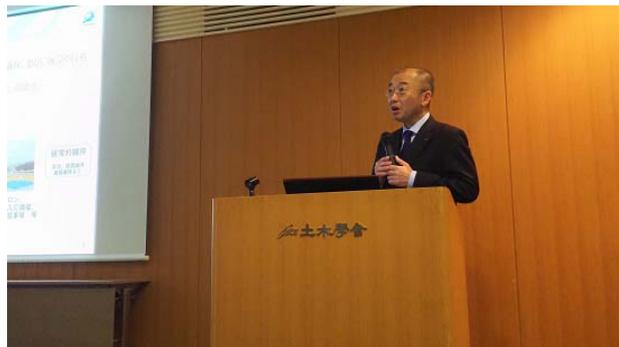
- ・「インフラメンテナンスの課題と今後の取り組み方針」
岩波 光保 氏(東京工業大学、インフラ長寿命化研究会)
- ・「ジェロントロジーと共創するまちづくり」
前田 展弘 氏(ニッセイ基礎研究所)
- ・「ストリートから構想する成熟社会のデザインとマネジメント」
三浦 詩乃 氏(横浜国立大学)
- ・「空港型地方創生:南紀白浜エアポートの取り組み」
岡田 信一郎 氏(南紀白浜エアポート)
- ・「エリアマネジメントに向けて」 野崎 秀則 氏(オリエンタルコンサルタンツ)

パネルディスカッション

- ・コーディネーター:久田 真 教授
- ・パネラー:前田 展弘 氏、三浦 詩乃 氏、岡田 信一郎 氏、野崎 秀則 氏

閉会挨拶

【シンポジウムの様子】



【プレゼン資料（一部抜粋）】

I. 南紀白浜空港での取り組み（主なプレゼンテーション資料）

1. 南紀白浜エアポート社(NSA)との業務提携

- 南紀白浜エアポート社（以下、NSA）とオリエンタルコンサルタンツは、平成31年4月に事業提携を締結しました
- オリエンタルコンサルタンツは、NSAが実施する南紀白浜空港コンセッション事業運営に対し、**土木施設アセットマネジメント**、**空港を拠点とした地域活性化**に関して支援を行っています

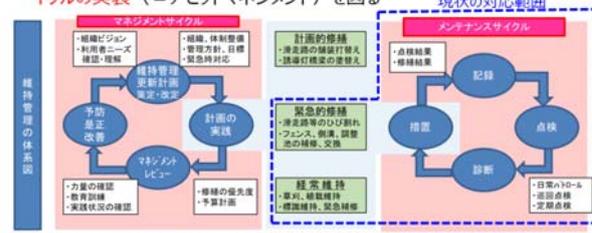


航空写真提供：NSA
Copyright 2019 ORIENTAL CONSULTANTS Co., Ltd. All rights reserved.

2. 土木施設アセットマネジメントの取り組み

(4) 今後の展開

- **現状**は、空港維持管理の現場対応の仕組みである**メンテナンスサイクル**構築がほぼ完了
- **今後は**、得られた保全情報を踏まえ、**マネジメントサイクル**を構築し、**両サイクルの実装**（＝アセットマネジメント）を図る



今後は、メンテナンスとマネジメントの両サイクルの実装を目指す
(注)「のり面」は南紀白浜空港ICを参考し当社編集

3. 地域の渋滞対策の取り組み

(1) 白浜町、NSA、OCの協働による地域の渋滞対応

- 南紀白浜空港が位置する白浜町で、毎年の夏に実施される**花火大会**における**渋滞対策**を、三者共同で検討、実施



左：NSA/岡田社長、右：白浜町/井淵町長

Copyright 2019 ORIENTAL CONSULTANTS Co., Ltd. All rights reserved.

3. 地域の渋滞対策の取り組み

(4) 今後に向けた新たな対策に関する提言



Copyright 2019 ORIENTAL CONSULTANTS Co., Ltd. All rights reserved.

II. 奈良県田原本町での取り組み

1. 橋梁維持管理におけるECI方式の導入

(3) 田原本町で試行導入したECI方式とは

従来型の発注方式

ECI方式 (田原本町にて試行導入)

■ **ECI方式 (田原本町試行導入)**

【特徴】

- ① 施工者は**地域企業**
- ② 設計時において**施工者からは技術提案を求めず**、主に施工計画に対して**施工者の協力を得る**
- ③ **三者協定による三者協議会**にて意思決定を行う
- ④ 施工時は、**設計者がCM的に参画**する

2. 包括的な実践に向けた今後の展開

- これまでの試行により、橋梁維持管理の実践（措置）として、「設計と工事」に着目し、**基礎自治体にとって有効な対応手法（ECI方式）を確立**
- 今後は、対象を**道路全体へ拡大**し、ECIを含めた**マネジメントサイクル～メンテナンスサイクルの包括的な実践**を目指す

現状のECI対応範囲

マネジメントサイクル

メンテナンスサイクル

● 今後は、ECIを含めたメンテナンスからマネジメントまでの**包括的な実践**を目指す

注) 「のり方社」の編纂 日経BP社に参考当社編纂

III. エリアマネジメントに向けて

III. エリアマネジメントに向けて

【スローガン】

『**社会価値創造企業**』

【ビジョン】

「**革新**」、「**挑戦**」、「**変革**」により、**社会価値創造企業へ**

- ・「革新（イノベーション）」では、「総合事業」と「研究開発」により、新たな社会価値を創造
- ・「挑戦（チャレンジ）」では、「事業経営」、「官民連携」に積極的に取り組む
- ・「変革（チェンジ）」では、受動型ビジネスから**主導型ビジネス**に転換

社会価値創造企業

～自らが社会を創造する担い手になる～

異なる社会価値の創造

責任業務 官民連携 事業研究

総合事業によるエリアマネジメントを推進
先進技術(AI/IoTなど)導入に向けた研究開発

革新 挑戦 変革

総合事業 + 研究開発 官民連携 + 官民連携推進 事業研究 + 事業研究

III. エリアマネジメントに向けて

- 各事業の**施策立案から維持管理**までの**垂直統合と複数事業の複合化**を推進
- 地域全体の**エリアマネジメント**を目指す

エリアマネジメント

		施策立案				総合化
		整備・保安	防災	交通	地方創生	
統合化	統合化	政策立案 事業経営	政策立案 事業経営	政策立案 事業経営	政策立案 事業経営	垂直統合
	統合化	企画	企画	企画	企画	
	統合化	調査	調査	調査	調査	
	統合化	設計	設計	設計	設計	
	統合化	施工	施工	施工	施工	
統合化	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理		

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
 URL: <https://www.oriconsul.com/>
 統括本部 宮内、丸山